

第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」の開催のご案内

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。
- ・ご応募いただく作品は、概ね3年以内に撮影したものを対象としており、過去に撮影された作品でも応募できます。詳しくは募集要領をご参照ください。

日本の四季折々の鉄道のある風景を題材に、昨年は1,154点の応募をいただいた写真コンテストを今年も開催します。

グランプリ受賞作品は、例年、「鉄道の日」(10月14日)を中心に開催されるメインイベントの一つ「鉄道フェスティバル」のオープニングセレモニーで、審査委員長の猪井貴志氏(写真家)より作品の紹介と表彰をいただいています。

(※今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。)

記

「第22回鉄道のある風景写真コンテスト」

主催：「鉄道の日」実行委員会

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)

テーマ：日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

受付期間：令和3年7月1日(木)～8月31日(火)(必着)

受賞作品：グランプリ(国土交通大臣賞)

四季賞	春賞	四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、 鉄道・運輸機構理事長賞1点、 国土交通省鉄道局長賞1点 を選出	1点
	夏賞		4点
	秋賞		
	冬賞		

シティ・トレイン・ビュー賞 1点

ジュニア賞(※18歳以下を対象) 1点

入選 数点

審査結果発表(予定)：10月上旬鉄道・運輸機構ウェブサイト

添付資料 第22回鉄道のある風景写真コンテスト募集要領

第21回鉄道のある風景写真コンテスト作品集

＜本件に関するお問い合わせ先＞

鉄道・運輸機構 鉄道助成部

特定財源管理課 杉田・増田

TEL 045-222-9133

第22回「鉄道のある風景写真コンテスト」募集要領

令和3年5月19日

主催者

「鉄道の日」実行委員会
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）



後援

国土交通省

テーマ

日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

応募受付期間

令和3年7月1日（木）～令和3年8月31日（火）必着

応募資格

・アマチュアの方で、撮影マナーをしっかりと守っていただける方ならどなたでも応募できます。

応募規格

※応募規格外の写真は、審査の対象外となります。

- ・応募作品は、未発表のものに限る。（詳細は注意事項①をお読み下さい。）
- ・カラー六切り（ワイド六切り可）、またはA4サイズでプリントアウトしたもの。
- ・額装、合成写真及び組み写真は不可。
- ・概ね3年以内に撮影をしたものに限る。
- ・応募点数は一人4点まで可能。
- ・無人航空機（ドローン等）により撮影した写真は不可。

応募方法

- ・応募作品には1点ごとに「作品情報票」を裏面にテープで貼付した上で、「応募票」（送付封筒1通毎に1枚作成）を同封して下記応募先まで送付して下さい。（直接の持ち込みは禁止します。）なお、「作品情報票」及び「応募票」は本要領の最終ページの利用、もしくは鉄道・運輸機構ウェブサイト（<https://www.jrtt.go.jp/>）よりダウンロードして作成して下さい。必要事項について記載があれば自作のものでも構いません。
- ・応募作品が、送付中に作品が折れたり、汚れないようビニール袋に入れる、厚紙に挟む等の包装を推奨します。

応募・問い合わせ先

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー20階
鉄道・運輸機構 鉄道助成部内 写真コンテスト係
電話 045-222-9122

表彰

・グランプリ	国土交通大臣賞	1点
・四季賞		4点
春賞	四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、 鉄道・運輸機構理事長賞1点、 国土交通省鉄道局長賞1点 を選出	
夏賞		
秋賞		
冬賞		
・シティ・トレイン・ビュー賞		1点
・ジュニア賞 (18歳以下を対象)		1点
・入選		数点

グランプリ受賞者には、賞状、トロフィー、副賞及び記念品を贈呈いたします。
四季賞及びシティ・トレイン・ビュー賞受賞者には、賞状、副賞及び記念品を贈呈いたします。
ジュニア賞受賞者及び入選者には、賞状及び記念品を贈呈いたします。

審査委員

審査委員は、次の方々をお願いします。(敬称略)

審査委員長	猪井 貴志 (写真家)
審査委員	竹内 健蔵 (東京女子大学教授)
審査委員	中村 直美 (株式会社交通新聞社 常務取締役第2出版事業部長)
審査委員	国土交通省鉄道局長
審査委員	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長

審査結果の発表

入賞・入選者へは、鉄道・運輸機構から直接ご連絡するとともに、令和3年10月上旬に、鉄道・運輸機構ウェブサイト (<https://www.jrtt.go.jp/>) にて発表します。

なお、グランプリ受賞者は、例年、10月に東京で行われる「鉄道の日」関連行事(鉄道フェスティバル)の中で表彰式を行っています。今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。

また、一部の作品は、鉄道・運輸機構の広報印刷物などにも利用する予定です。

個人情報の取り扱いについて

作品をご応募の際には、別添の「応募票」「作品情報票」に正確な応募者の個人情報を記入し、主催者に提供いただく必要がありますので、応募者は、自らの意思に基づき個人情報の提供についてご判断ください。なお、必要な個人情報を提供していただけない場合、主催者は当該応募を受け付けません。

(利用目的)

◇ 提供していただく個人情報は、以下の目的で必要な範囲で利用されます。

- ・ 入賞、入選者への通知
- ・ 本コンテストの応募作品に関する応募者への問合せ
- ・ その他、本コンテストの運営上必要な場合

◇ 入賞、入選者の氏名、住所(都道府県のみ)は、本コンテスト関係のウェブサイトや印刷物その他で、入賞、入選作品を紹介する際にも掲載されます。

(個人情報の管理)

個人情報の取り扱いについては、関係法令に従い適正に管理します。

注意事項

下記の注意事項のほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。

- ① 応募いただく作品は、未発表で応募者が一切の著作権を有しているものに限り、応募者による同一または類似作品は、規模の大小にかかわらず、他のコンテストなどに応募中または応募予定の場合は応募できません。但し、応募者本人の制作による市販目的のない写真集や本人のウェブサイトに掲載された作品、審査のない写真展に出品した作品は応募可能です。
- ② 応募作品で使用する被写体（人物等）及び著作物等については、被写体および著作権等の権利者から応募者が事前に使用許諾・承認を得た上で応募してください。応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情、異議申し立てがあった場合といえども、主催者は一切の責任を負わず、応募者が全て対処するものとします。
- ③ 応募作品に関する著作権は、応募者に帰属するものとします。
- ④ 入選者は主催者に対し、主催者が管理するウェブサイト、展示会、印刷物、宣伝広告物等において、入賞・入選作品を公表、表示、複製、展示、公衆送信（送信可能化を含む）、頒布等し、かつ、それらの全部または一部を第三者に再許諾できる無償の非独占的権利を許諾するものとします。
- ⑤ 主催者は、前項に関連して、入選作品の全部または一部を改変（色合いの変更を含む）できるものとします。
- ⑥ 入選者は、主催者および主催者から許諾を受けた第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ⑦ 応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑧ 入賞・入選内定者は、指定期限内に原版（ネガ・ポジ等）またはデジタルデータを提出していただきます。期限内に提出いただけない場合、入賞・入選の内定を取り消します。なお、原版（ネガ・ポジ等）で提出いただいた場合は、使用後に当該原版を返却いたします。
- ⑨ 応募作品の受領通知は行いませんので、ご了承下さい。
- ⑩ 応募作品（入賞・入選作品に関しては提出いただいた原版及びデジタルデータも含む）の取扱いには十分注意しますが、万一応募作品に関する損失、紛失等の事故（送付中の事故も含む。）が生じた場合であっても責任は負いかねます。
- ⑪ 審査選考に関するお問合せ及びご要望には応じかねます。
- ⑫ 撮影にあたっては、列車往来などに十分注意してください。鉄道用地・私有地への無断の立ち入りや違法駐車、ゴミの投棄などの近隣住民への迷惑行為及び危険行為は絶対に行わないで下さい。これらの行為のうえ撮影されたと思われる作品は審査対象外とします。また、撮影に起因する事故やトラブル等については、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ⑬ 主催者は、応募者が応募した時点で本募集要領に記載されている諸条件に同意したものとみなします。本募集要領に明記されていない事項については、主催者が最終的な決定権をもつものとします。また、主催者の決定に同意できない場合、応募者は応募を撤回することができますが、応募の撤回にともなう費用は、全て応募者の負担となります。
- ⑭ ご応募が本募集要領に違反すると主催者が判断した場合は失格となります。また、入賞・入選決定後に違反が判明した場合も同様となり、入賞・入選の取消しや副賞等を返還していただく場合があります。この場合の費用は、全て応募者の負担となります。

応 募 票

(ふりがな) 氏名	(歳) ※1 男 ・ 女
住所	〒 -
連絡先	自宅電話番号： 携帯電話番号： E-mail :
作品タイトル※2	1. 3. 2. 4.
コンテスト応募の きっかけ ※ 該当項目を○で囲んで下さい。	a) 鉄道雑誌 (雑誌名：) b) カメラ雑誌 (雑誌名：) c) 新聞 (雑誌名：) d) 鉄道車内広告、広報誌等 (鉄道会社：) e) インターネット (ウェブサイト：) f) 家族・友人の薦め g) これまでに応募したことがある (回目) g) その他 (具体的に：)

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募者が今回のコンテストに応募した「全ての作品」のタイトルを1.～4.にご記入ください(順不同)。

作 品 情 報 票

【それぞれの作品裏面に貼付】

(ふりがな) 氏 名	(歳) ※1 男 ・ 女
(ふりがな) 作品タイトル	
撮影日時等	年 月 日 時頃 (春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬) ※2
撮影場所	鉄道会社名 ※3 (..... 線 間)
撮影コメント※3 (撮影時の状況や狙い、 感想等)	
カメラ種別※4 カメラ機種 レンズ	種 別：フィルム・デジタル・その他 () 機 種： レンズ：
撮影データ※3 (絞り・シャッター速度等)	
本コンテストへの 応募回数	回 目
写真撮影歴※3	約 年

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募作品について、応募者が該当すると感じている季節を○で囲んでください。

※3 可能な範囲でご記入ください。

※4 該当する種別を○で囲んでください。

第21回

鉄道のある風景写真コンテスト 作品集

今年は、世界中で新型コロナウイルス感染症に翻弄させられました。これまで幾度もの災害を乗り越えて鉄道は復興してくれました。この新型コロナウイルス感染では皆様の生活パターンが大きく変わってしまい、人との接触を避けるためホームワーク・オンライン会議等で、通勤・通学や旅行に出ることもかなわない毎日でした。しかし、それでも全国の鉄道はいつものとおり運行されていたのです。車内に人影は見えませんでした。乗客がいなくても定刻に列車はいつもの時間に走ってくれたのです。このレールの先にはいつでも、自分の故郷へ、行きたい所に繋がっている安心感を与え続けてくれたのです。

一日も早い新型コロナウイルス感染の終息を祈るばかりです。

写真家 猪井 貴志

グランプリ 国土交通大臣賞 野口 茂樹(千葉県)



『花火』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 日出谷駅～鹿瀬駅)

撮影者のコメント

「花火が揚がる中、谷間を汽笛を響かせ白煙を棚引かす蒸気機関車。感動しました。」

総 評

第21回「鉄道のある風景写真コンテスト」。今年は新型コロナウイルス感染で、応募数を心配しておりましたが、嬉しいことに昨年同様の作品が寄せられました。審査員一同喜びを隠せませんでした。

自由に撮影に出かけることのできない我慢の日々が続きました。今年の春こそ、目指す撮影地の花々が満開の時期に・・・、パステルカラーに輝くまさに「山笑う」新緑を狙いと、皆様それぞれの撮影計画を立てられていたことでしょう。今年撮影出来なかった想いは、来年訪れた時のためにしっかりとイメージして自身の引き出しにしまっておきましょう。引き出しが増えれば、次期訪れた時、「この風景だよ！」と自身の思い描いたシーンとの出会いを見逃さないための糧となるからです。今回も、有名撮影地・光景・スナップなどの時間帯・季節・光線状態に、それぞれ思いをはせた作品をたくさん拝見しました。今後ますますレベルの高い作品を審査させていただくことでしょう。

今年はまだ、黄金色に染まる秋や一面銀世界の冬など撮影の機会はありますが、撮影時には時節柄くれぐれも新型コロナウイルス感染に十分留意しながら撮影を楽しんでください。

第21回グランプリを射止めたのは野口茂樹さんの作品「花火」。微妙に変化するトワイライトタイムの魅力を存分に表現してくれました。作者の細やかな画面構成への配慮で、蒸気機関車・花火・それらを写し込む水鏡と、二拍子も三拍子も揃った華やかな舞台になりました。まさにトワイライトタイムならではの世界観を見せてくれました。

写真家 猪井 貴志

春賞 (鉄道・運輸機構理事長賞)

荒木 貴啓(兵庫県)



『もうひとつの春』

(西日本旅客鉄道 因美線 三浦駅)

撮影者のコメント

「満開のさくらを楽しみながら駅の散策をしてみると、その桜に包まれるように、もうひとつの春が鏡の世界にありました。」

夏賞 (「鉄道の日」実行委員会会長賞)

上田 康恵(鳥取県)



『列車を待つ2人』

(四国旅客鉄道 予讃線 下灘駅)

撮影者のコメント

「列車を待つ2人のシルエットがキレイでした。」

秋賞 (国土交通省鉄道局長賞)

岩田 壮一(東京都)



『鮮烈なる秋景』

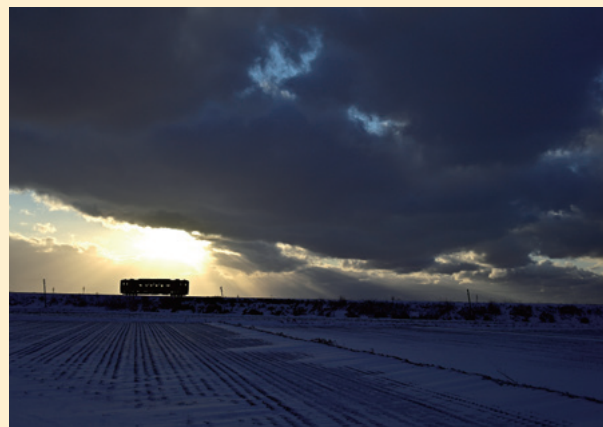
(北海道旅客鉄道 根室本線 東鹿越駅～金山駅)

撮影者のコメント

「目一杯秋色にドレスアップした落葉松に西日が、鮮烈な秋の秋景を創り出してくれました。」

冬賞 (「鉄道の日」実行委員会会長賞)

大藪 琢也(茨城県)



『天使が舞い降りた日』

(津軽鉄道 津軽飯詰駅～毘沙門駅)

撮影者のコメント

「雲の切れ間から天使の梯子がかかった時、その荘厳さに思わず息を呑んだ瞬間でした。」

シティトレインビュー賞 佐野 嘉春(東京都)



『ブルーアワーを駆ける』

(東日本旅客鉄道 東北新幹線 仙台駅)

撮影者のコメント

「仙台の夜景と新幹線が撮りたくて何度が訪れた展望台。ブルーアワーに街明かりが瞬く最高の刻にE5系がやってきました。」

入選 佐々木 英樹(福井県)



『水鏡風情』

(西日本旅客鉄道 越美北線 牛ヶ原駅～計石駅)

撮影者のコメント

「田植え後の早朝、水鏡状態に赤い気動車を待ちました。新緑と相成って水彩画の様でした。」

入選 峯坂 和彦(北海道)



『最果てのサファリパーク』

(北海道旅客鉄道 根室本線 落石駅～別当賀駅)

撮影者のコメント

「エゾシカが線路間際まで接近している光景に、北海道の鉄道が自然と共存している事を改めて感じました。」

ジュニア賞 前川 佳輝(神奈川県)



『雨に打たれて』

(京都鉄道博物館)

撮影者のコメント

「突然の夕立でスチーム号を見ていた親子が急いで車内に戻る様子をとらえました。また雨の中でも悠然と煙を吐いているSLの姿もとらえました。」

入選 樋口 精一(福島県)



『季節の狭間に』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 尾登駅～荻野駅)

撮影者のコメント

「晩秋の谷間に冷気が漂い、雲海が広がりました。音だけの上り一番列車はトンネルを抜け釜ノ脇橋梁を渡ると、隙間が開き、その姿を見せてくれました。」

入選 登坂 直紀(北海道)



『幻影』

(丸瀬布森林公園いこいの森)

撮影者のコメント

「秋深まる山林にこだまする汽笛、まるで幻かのような瞬間でした。」

入選 山口 誠博(大阪府)



『穏やかな冬の日』

(西日本旅客鉄道 関西本線 月ヶ瀬駅～鳥ヶ原駅)

撮影者のコメント

「春を待つ冬の樹に、鼓動を感じて。」

入選 渡辺 尚作(大阪府)



『ほたるの森の鉄道』

(和歌山電鐵 貴志川線 山東駅～大池遊園駅)

撮影者のコメント

「ひらひらと蛍が舞う中を静かに鉄道が走っていく。美しい自然と鉄道が共存するこの姿がいつまでも残って欲しいと思いながら撮影しました。」

入選 奈良 淳一(埼玉県)



『溪流』

(東日本旅客鉄道 磐越東線 江田駅～川前駅)

撮影者のコメント

「大地の隆起と侵食によって形成された夏井川渓谷の渓谷美は圧巻です。そこにひかれた鉄道のある風景、まさに絶景です。」

(敬称は略させていただきます)

第21回 鉄道のある風景写真コンテストの概要

主催 「鉄道の日」実行委員会／鉄道・運輸機構
後援 国土交通省
募集期間 令和2年7月1日(水)～令和2年8月31日(月)
審査 令和2年9月4日(金)午後 鉄道・運輸機構にて開催
応募数 1,154点 (応募者数：428名)

写真の審査は、次の方々をお願いいたしました。(敬称略)

審査委員長 写真家 猪井 貴志
審査委員 ㈱交通新聞社常務取締役第2出版事業部長 中村 直美
東京女子大学教授 竹内 健蔵
国土交通省鉄道局長 上原 淳
鉄道・運輸機構理事長 北村 隆志

入賞・入選
作品の展示

令和2年10月14日(水)～23日(金)
令和2年11月2日(月)～12日(木)
令和2年11月20日(金)～30日(月)
令和2年12月4日(金)～16日(水)

和歌山電鐵貴志駅
京都丹後鉄道峰山駅
神戸電鉄谷上駅
つくばエクスプレス浅草駅

第22回は、令和3年春に募集案内を告知する予定です。
応募要領は、鉄道・運輸機構のホームページをご覧ください。



明日を担う交通ネットワークづくりに貢献します。

鉄道・運輸機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 (横浜アイランドタワー)

TEL 045 (222) 9100 (代表)

URL <https://www.jrnt.go.jp/>